

7/27(日) 幼教専攻「音は楽しい！を伝えるために」

～自ら音の楽しさを知る～

氏名；

リモート参加の学生は下の動画を見てからお答えください。(Queen Live 映像)



- 1、この講座を振り返り、学んだことや感じたこと、興味を持ったこと、あるいは考えたこと
をお書きください。

- 2、次ページのコラムを読んで感じたこと、考えたことなどをお書きください。
子どもと、あるいはライブで、似たような実体験があれば、それに対して感じたこと、考えた
ことを書いていただいても構いません。

「音が音楽に変わる瞬間（とき）」保育士を目指す皆さんへ

ある日園児が、食べ終わった弁当箱の輪ゴムを引っ張り、指ではじきます。
ブーン♪「ハハッ！面白い音！」発見ですね。「先生、ほら！」

その時「お行儀悪いよ」と返せばそこで終わり。
でも優しいあなたはこう応えてくれるかもしれません。「ほんとね！」
共感、素敵な光景です。

でもそれで終わり？
その子は今、音世界の入り口、終わるのは勿体無い。それに本当に面白いなら、あなたも自分のお弁当でやりたくなるはず。
ブーン♪あなたもはじいてニコリ。園児の笑顔が咲きます。
共有ですね。

でもそれで終わり？
さらに、試しに強く引いて、はじいてみましょう。
「あ！音が変わる！」長さを変えつつやれば、メロディーみたい？ヘンテコな音に園児も興奮、リズムに乗ってブンブン♪。
遂に**音楽**の誕生です。

さらに！
互いにフレーズをまねっこして掛け合いに！
共振した二人は、言葉でなく音だけのやり取りで笑い合うように。音楽が作る幸せな時間です。

掛け合いといえば、Queenの伝記映画「ボヘミアン・ラプソディ」ラストでも再現された、た伝説のコール&レスポンス「エーーーーーオ」が有名ですね。

他のライブでも、アーティストの声を真似して歌ったり、一緒に歌ったり、よくあるシーンです。

観客は、一体何にあれほど熱狂するのか。

そう、皆は**音によって繋がる**のです。
大好きな人と、そしてたくさんの人と、しかも双方向に。
だから嬉しいのです。

保育でも**音でのコミュニケーション**は、音の魅力へ誘うキーワード。
しかも、ファンから見たQueenのように、園児にとってあなたは、
「大好きな人」なのかもしれませんよ！

（飯田俊明）